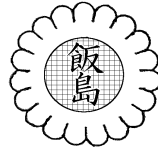


ひまわり

6月号 令和5年5月31日

横浜市立飯島小学校



生きるよろこび
学ぶ楽しさ
のびのび 飯島っ子



受け止める力 伝える力

校長 河原 洋之

夏を思わせる暑さの中、子どもたちはスポーツフェスティバルに向け、練習に取り組んできました。練習を重ねることで、動きや気持ちの高まりが見られるようになりました。

27日(土)のスポーツフェスティバルでは、今までの練習の成果を保護者や地域の皆様にご覧いただくことができたと思っています。暑い中でのご参観、運営へのご協力、ありがとうございました。

また、PTA本部の皆様や地域交流室の皆様には見回り等で支えていただきました。心より感謝申し上げます。

先日、4年生の国語の学習「聞き取りメモのくふう」に参加させていただきました。子どもたちは事前にメモの取り方を学び、当日はわたしの話をメモに取り、その内容を友達と共有していくという活動をしました。

わたしは小学生時代のことを子どもたちの前で話しました。横浜市で生まれ三浦市で育ったこと、自然の多い三浦市で経験したこと、通っていた小学校のことなど数十年前のことを思い出し、いろいろと話しました。子どもたちは時々「えー」と驚きの声を上げながら、わたしの話に耳を傾け、一生懸命鉛筆を動かしていました。

自分のことを子どもたちに伝えることができ、わたしはとても嬉しい気持ちになりました。こちらが一方的に話しているだけでは、こういう気持ちにはなりません。子どもたちがしっかりと受け止めてくれたおかげです。

19日(金)には、校内スピーチコンテストが行われました。6年生の各クラスの代表がSDGsの視点で世界の課題を捉え、「国際平和のために自分ができること」についてスピーチをしました。

どの子も、聞いている5・6年生の子どもたちに対して堂々と自分の考えや思いを述べることができ、立派でした。聞く側の子どもたちも話し手の思いをしっかり受け止めていたようです。

わたしたちが生活する上で、「受け止める力」「伝える力」はとても大事な力だと考えます。とくに円滑な人間関係を築くには欠かせない力です。この2つの力が足りないことで、トラブルが起こることもあります。

子どもたちにも学校生活の中で友達と関わりながら、この2つの力を身につけてほしいと思っています。

わたし自身も「受け止める力」「伝える力」を磨き続けていきます。